

次年度に向けた取組について

データ共有活用基盤の開発 H29年度の進め方(案)



平成29年3月30日
内閣府

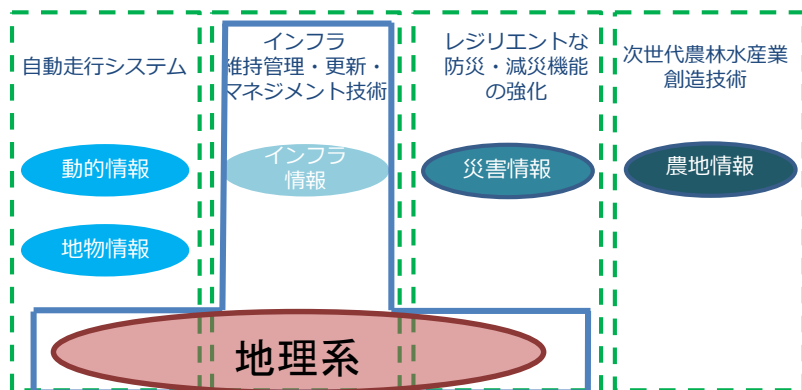


データ共有活用基盤の開発について

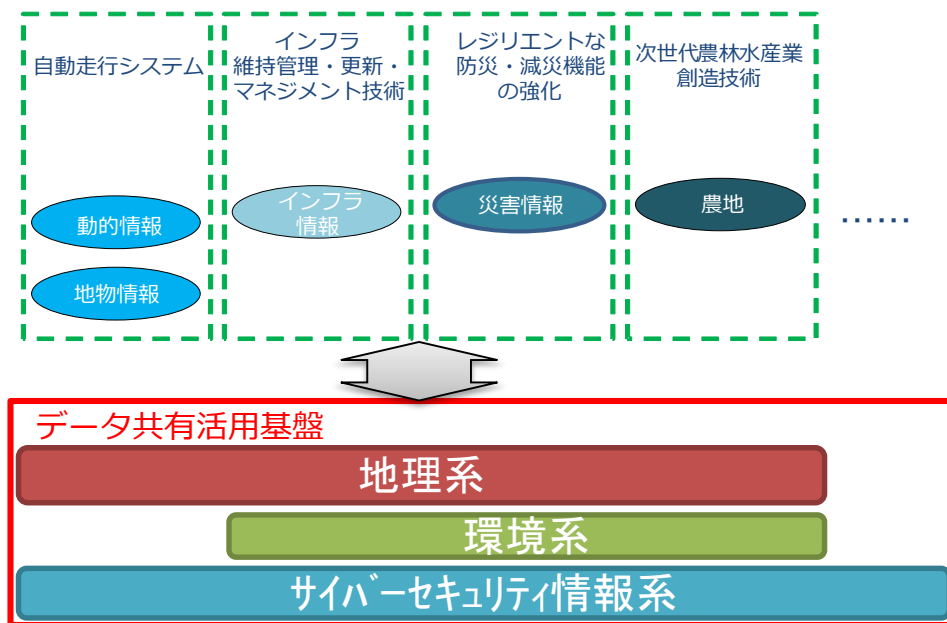
データ共有活用基盤の開発では、

- ・共有することで価値のあるデータの構造や要求条件を整理
- ・データを活用しやすくするためのAPI、および、フォーマットとメタデータのあり方を整理
- ・論理的なデータベースのプロトタイプを試作し実証することを目指す。

平成28年度



平成29年度以降



- ・平成28年度追加予算（SIPインフラ）
- ・3次元地図情報共通プラットフォームの調査、仕様検討
（平成29年5月に報告書予定）

- ・各SIPが共通的に必要となるデータ共有活用基盤に関する調査研究をSIP共通経費で実施し、各SIPはその基盤を活用する個々のアプリケーションの研究開発をしてはどうか。

スケジュール

SIPの取組を活用して、具体的に以下の項目を内閣府において取り組む。

- 関連するデータの所在および特性などの調査
- 共有すると価値のあるデータベースの基盤に対する要求条件の検討
- プロトタイプ試作に必要な要件の策定
- プロトタイプ試作
- プロトタイプの実証

